Aprire

秋田大学広報誌［アプリーレ］

No. 67

2020.04

特集

学長・学部長メッセージ

Aprire
秋田大学広報誌［アプリーレ］

CONTENTS

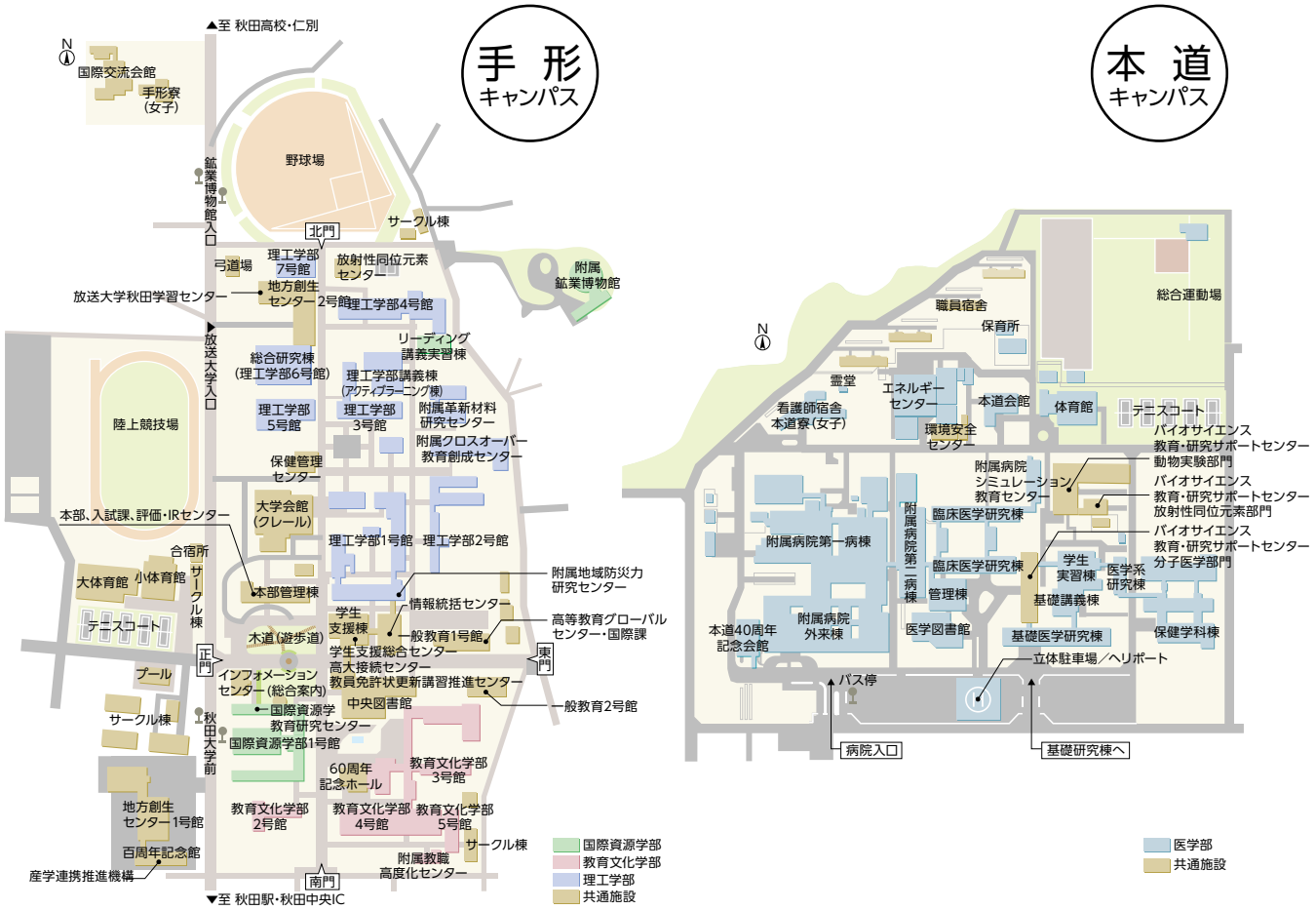
COVER PHOTO

今回の表紙写真は、秋田大学手形キャンパス内の桜を背景に撮影したものです。撮影に協力してくれたのは教育文化学部の学生です。明るい雰囲気の中素敵な笑顔を見せてくれ、秋大での楽しい学生生活が思い浮かびます。

撮影にご協力いただいたお二人、ありがとうございました。

広報課

03 ［特 集］学長・学部長メッセージ
06 学生メッセージ
08 CAMPUS LIFE
10 包括連携協定記念コラム
11 先輩なう。
12 キャンパスカレンダー
14 秋田大学みらい創造基金
16 イベント情報・学生サポート



特　集

学長・学部長メッセージ

山本学長をはじめ、各学部長の方々に新入生へのメッセージをいただきました。

秋田大学長　**山本　文雄**

秋田大学長メッセージ

新入生の皆さん、ようこそ秋田大学へ！皆さんのご入学を心から歓迎いたします。大学生活はいかがでしょうか？希望に満ち満ちて毎日を送っておられる反面、これまでの環境と大きく異なることから、戸惑いも多いことと思います。自分を見失わないように留意してください。皆さんは、将来の夢を実現するために秋田大学の門をくぐったはずですが、今は、抽象的な夢、目標しか持っていない方も多いかと思います。大学生活は、それを具体的な夢として認識し、社会に出て、その夢を実現するための準備期間です。大学生活は走り幅跳びの助走に喩えられ、飛べる距離も、飛ぶ姿勢の美しさも助走次第、すなわち大学生活の充実度が、その後の人生に大きく影響することは疑う余地もありません。これから始まる教養基礎教育、専門教育を十分に理解することも必要ですが、社会に出る時は、同じくらい重要なことがあります。それは、「礼節を知る」ことです。礼節とは、人が守るべき礼儀・節度であり、人生を歩んでいくために最低限守らなければならない規範です。教職員、諸先輩方や同級生との接し方、この基礎となるもの、それは礼節を知ることから始まります。大学は「アカデミア」と称され、知的好奇心を育んでいくことを通じ、生涯にわたる喜びを探す空間です。科学における真理追及の中においても、人間としていかにあるべきか、いかに行動すべきか、ということを常に意識し、考えながら生活することは、この時期の人間形成に極めて重要であります。大学時代に培われた精神は個人の一生を大きく左右し、人生における様々な難問への遭遇においても、その解決の大きな力となることは間違いありません。

秋田大学は、新入生の皆さんを、さらに成長させ、「秋田大学で学んでよかった」と自信をもって次のステップに進めるよう、教職員が全力で向き合っていくことを約束いたします。

国際資源学部長メッセージ

国際資源学部長　**藤井　光**教授

ご入学おめでとうございます。秋田も長い冬が終わり、美しい春を迎えようとしています。一方で地球温暖化と思われる原因により、この冬は秋田でも例年にない暖冬でした。地球温暖化は温室効果ガスの影響で大気や海洋の平均温度が長期的に上昇する現象で、巨大な台風、森林火災などはすでに頻発していますが、進行するとさらに深刻な事態が生じる可能性があります。

温暖化対策にはCO_2を排出しない再生可能エネルギーの利用、省エネルギーの徹底が重要です。秋田県は国内有数の再生可能エネルギー導入量を誇っており、風力発電量は全国1位で、洋上風力発電も計画が進んでいます。また、地熱発電においては昨年5月に発電量が大分県に次いで全国2位になりました。国際資源学部では地熱エネルギー利用に関する研究に積極的に取り組んでおり、特にこれまで未利用だった地球深部のマグマ熱による発電技術や地表近くの地熱を用いて省エネ型冷暖房を行う地中熱利用において、多くの学生が目覚ましい研究成果を挙げています。

大学生活ではサークルやアルバイトに明け暮れると4年間はすぐに終わってしまいます。皆さんには温暖化対策への貢献のような具体的な目標を設定し、それに積極的に取り組むことをお勧めします。

教育文化学部長メッセージ

教育文化学部長　**佐藤　修司**教授

入学おめでとうございます。大学は学問の場です。学んで問うこと、問うて学ぶこと、この繰り返しが学問です。教育も含め、社会には様々な情報があふれていますが、何が真実であるのか、有益な情報であるのかは判別がつかず、逆に嘘や詐欺、誹謗・中傷があふれています。真実を見抜き、進むべき方向を見いだすためには、過去から現在まで積み上げられてきた知の体系を身に付けることが必要です。もちろんその真実も方向も一つとは限りません。すべては疑いうるもので、本物は見つからないかもしれません。ルソーが書いた『エミール』の中に、「理性、判断力はゆっくり歩いてくるが、偏見は群れをなして走ってくる」という言葉があります。社会では往々にして理性が、偏見や無知に押し流されることもあります。それでもあきらめずに、多くの先人によってつながれてきた連綿とした知の営為を、みなさんが引き継ぎ、未来に伝えていくことを期待しています。大学の学びは教師や公務員、企業人などの職業にも結びついていますが、その職業技能は、批判精神、科学的精神、市民精神（シティズンシップ）と融合することによって自分と社会と未来を拓く揺るぎのないものとなるのです。

医学部長メッセージ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

さて、今日本は未曾有の高齢化社会に突入し、医療・介護・年金などの社会保障政策や医療・介護分野へのＩＣＴ技術の導入等、国をあげての取り組みが始まっています。皆さんは、これから数十年に渡る日本最大の課題に先頭に立って取り組んでいくことが期待されている人材です。医学・医療の進歩はめざましく、遺伝子治療や再生医療など最先端の医療技術が脚光を浴びていますが、医療の原点は、患者の社会的背景や生活の質に配慮した全人的医療です。人と人との関わり合いという医療の本質こそ、君たち医療人が究めていくべきだと思います。であれば、皆さんは己を磨いていく必要があります。大学においては、専門的知識と技術を習得することはもちろんですが、豊かな人間性を育むことも大事にしています。学業以外に、サークル活動、ボランティア、アルバイトなどを通じて交流の幅を広げることも大切です。

医学部には１０００名を超える教職員やメディカルスタッフが働いており、これら専門家が皆さんを医学・医療・看護の専門職としてトレーニングを積むお手伝いをします。お手伝いはしますが、主体となるのは皆さん自身です。自ら進んで医療人としての知識・態度・技能をしっかり身につけていくよう努力してください。

医学部長　**尾野　恭一**教授

理工学部長メッセージ

入学おめでとうございます。

秋田大学の正門をはいるとすぐに小さな庭園を目にします。その中程にリンゴの木が植わっていることに気がついたでしょうか。実はニュートンが万有引力の法則を発見した逸話に登場するリンゴの木の子孫にあたります。科学者アイザック・ニュートンはアルキメデスとガウスとともに世界三大数学者の一人に数えられており、万有引力の法則の発見のみならず、古典力学の創始、光のスペクトル分析、微分積分学の構築など数多の業績を残しています。

ニュートンは「あなたはどうして偉大な業績を挙げられたのか?」と問われた時に、「私がかなたを見渡せたのだとしたら、それは巨人の肩の上に乗っていたからです」と答えています。ニュートンにとっての巨人は、形式論理に基づく学問を目指した数学者デカルトだったようです。ニュートンはデカルトの書物「哲学の原理」を勉強し、そこから科学に対する思索を深めていったようです。「巨人の肩の上に乗って」は、新たな科学的成果は先人の研究成果の上に積み重なって出来ていくことを喩えた表現です。新入生の皆さんもまずは巨人の肩の上に乗る事を目指してください。学問を修めるためには、まず先人の構築した理論をしっかり勉強することが重要です。

理工学部長　**山村　明弘**教授

学生メッセージ message

夢に向かって頑張っている
秋田大学生から
受験生や高校生のみなさんへ
メッセージと共に
活動内容をご紹介します。

「東北地域ブランド総選挙」で最優秀賞・優秀発展賞受賞。

チーム秋田横手やきそば

特許庁と東北経済産業局が主催する「東北地域ブランド総選挙」に出場したチーム横手やきそば（大渕莉子さん、野崎杏菜さん、日向海帆さん）が最優秀賞、チーム秋田由利牛（伊藤日夏さん、佐藤聖真さん、菅原伶那さん）（いずれも教育文化学部1年生）が優秀発展賞を受賞しました。同選挙は東北地域の大学生が地域団体商標権者を取材し、取材に基づく地域商品やサービスの魅力をインスタグラム（以下、インスタ）上で発信するとともに、今後の新商品や新ビジネスのアイデア、PR方策等を競い合う大会です。

〝地域産品の良さを伝える〟と聞くと、様々な地域で既に議論され、実行しているイメージがあり、「どの地域も似たような広報活動をしているのだろう」と思っていました。そんな時、東北地域ブランド総選挙という大会の存在を知り、興味をもって参加を決めました。

私たちのチームは秋田県横手市の特産品「横手やきそば」をPRしました。私たちの活動は主に2種類で、「横手に取材に行き、横手やきそばの魅力をインスタで発信すること」そして、「横手やきそばの魅力をもっと広めるためのビジネスプランを考え、プレゼンテーションする」ことです。形は違いますが、インスタとプレゼンテーションという、どちらも「相手に伝える」という活動。限られた文量で大切なことをどう伝えるかを常に意識しながら発信活動を行いました。また、取材を重ねるうち、「どの地域も似たような広報活動をしているのだろう」という私の当初の想像は完全に覆されました。横手の方々は、横手やきそばを全国に広めようと多くの活動を行っていました。かつて横手市はB1グランプリで優勝し、今は全国で有名ですが、それに甘んずることなく、優勝から10年以上経った今でも「もっと横手を全国の人々に知ってもらうんだ！」という熱い心をもっていました。私はそのことに大きな衝撃を受け、こんなに頑張っている方々のために私たちができることをやらなければ、と決意することができました。そして、私たちは同選挙で最優秀賞を受賞しました。大会が終了した今も、私たちはラジオ出演や横手市長への表敬訪問等を行い、横手やきそばの魅力を伝えています。今後も横手の発展のためにできることを実行していこうと考えています。

今まで取材にご協力いただいた横手のみなさんをはじめ、携わった全ての方に心から感謝しています。

左から日向さん、野崎さん、大渕さん

チーム秋田由利牛

私たちは地域学基礎の授業で、インスタを活用した地域の取り組みについて学習を進めてきました。その中でも「秋田由利牛」という地域ブランドに目をつけました。そして、地域ブランドは地域の活性化にどのように貢献するかをテーマにインスタを使いながら調査してきました。

左から佐藤さん、伊藤さん、菅原さん

由利本荘市役所の秋田由利牛振興会の方や実際に牛を育てている農家さん、流通に携わっているお店の方など様々な方に取材させていただき、何度も現地に足を運ぶことで現状や課題、今後の対策などを深く考えることができました。昨年12月には「東北地域ブランド総選挙」で、これらの課題を解決するために考案したビジネスプランをプレゼンテーションし、優秀発展賞をいただくことができました。これらの経験を通して、実際に現地に足を運び、取材することで地域ブランドは産地である地域と密接に関わっていることや、地域の方々の産品への熱い思いを感じ取ることができました。また、インスタというSNSを使用することで今まで以上に幅広い年代への情報発信が可能になり得ることが分かりました。

地域学基礎の授業を通して自分たちで現状を調べ、課題を発見し、解決まで導くための方法も模索することができ、とても良い経験になりました。

このような経験は秋田大学に入ったからこそ体験できたと思います。現状に満足せず、今後も自分自身が地域と密接に関わっていくことで、秋田の活性化に貢献できるような人間になっていければと思います。

TOPIC

秋田大学などの研究グループ、白神山地の微生物酵素が心不全や高血圧に効果があることを突き止める

本学大学院医学系研究科の久場敬司教授らの研究グループ（本学と県総合食品センターのほか、国際農林水産業研究センター、医薬基盤・健康・栄養研究所など4機関を中心）が、白神山地の土壌から採取した微生物の酵素「B38-CAP」に、心不全や高血圧の治療に効果があることを突き止めた研究成果について、2月27日、本学医学部附属病院で記者会見しました。また、新型コロナウイルスによる重症肺炎の治療薬開発につながる可能性もあると発表しました。

同研究グループは5年ほど前からB38-CAPの研究に取り組んでおり、B38-CAPを遺伝子解析したところ、人体由来の酵素「ヒトACE2」と構造が似ていることを発見しました。ヒトACE2は心不全や高血圧の症状を改善する効果があり、本学を中心に実験を重ね、悪玉物質を分解して血圧を下げたり、心不全の症状を改善するなどの治療効果が確認されました。また、ヒトACE2はSARSコロナウイルスによる肺炎を改善することからB38-CAPにも同様な効果が期待されるといいます。

本学の久場教授は「B38-CAPに新型コロナウイルスによる肺炎の重症化を防ぐ効果があるかどうかの実験を急いで進めている。予備実験の段階であるが、症状の改善は認められる」と話しました。

本研究成果の論文が国際科学雑誌「ネイチャー・コミュニケーションズ」電子版に掲載されています。

記者会見で発表する久場教授

新入生の皆さんも４月から新生活が始まりますね。不安と期待を胸に入学されたと思います。
学部ごとの１日のスケジュールと新入生の皆さんにメッセージをいただきました。 学生生活は戸惑いの連続だと思います。
このページを開くと新生活を充実させるためのアドバイスや秋大の魅力が見えてきます。

韓国留学に挑戦します！

教育文化学部　地域文化学科２年次

斉藤（さいとう）　萌加（もえか） さん

PROFILE

- 出身高校／秋田県立秋田南高等学校
- 課外活動団体／競技ダンス部
  ※課外活動団体ではないが、
  学生広報スタッフや秋田大学生協学生委員会として活動している。
- 通学方法／バス
- アルバイト／塾講師、コンビニエンスストア

1日のスケジュール

6：00	起床、登校
8：50 ～ 12：00	授業
12：00 ～ 12：40	昼休み
12：50 ～ 14：20	空きコマ（図書館で勉強）
14：30 ～ 16：00	授業
17：00 ～ 21：30	アルバイトor課外活動　他
22：00	帰宅、課題取り組み
23：30	就寝

学食で友達とランチ

競技ダンス部として大学祭でダンスを披露しました。

MESSAGE

　これまでの学生生活を振り返ってみて感じることは、充実した大学生活を送るうえで、興味・関心を持ったものはとことん実行してみる、勉強してみるという姿勢が大切だということです。選択肢が増え、なんでも手に入る大学生だからこそ、何事も自分から動かないことには、何も得ることができません。実際に私は、講義やアルバイト、学内外のイベントなど、少しでも興味を持ったものには、とにかく取り組んでみました。また、現在は挑戦したいと考えていた「韓国留学」に向けて、準備を進めています。チャレンジ精神を持って活動することで、多くのことを学び、多くのことを吸収できる可能性を秘めているのが、私たち大学生なのです。
　秋田大学は、今まで出会ったことのないような「人」や「モノ」に出会える場所です。自身のアンテナを高く張り、大学生活を最大限楽しんでほしいと思います。皆さんが充実した学生生活を過ごせることを願っています！

手帳がおすすめ！

国際資源学部　国際資源学科　資源政策コース２年次

斎藤（さいとう）　辰紀（たつき） さん

PROFILE

- 出身高校／栃木県立石橋高等学校
- 課外活動団体／競技ダンス部
  南米民族音楽サークル La-mia
- 通学方法／自転車 or 徒歩
- アルバイト／居酒屋 (18:00 ～ 21:00)

1日のスケジュール

7：00	起床、登校
8：50 ～ 12：00	授業
12：00 ～ 12：50	昼休み
12：50 ～ 17：40	授業
18：00 ～ 21：00	アルバイト or 課外活動　他
21：30	帰宅、夕食、勉強
24：00	就寝

南米民族音楽サークル
La-mia での活動風景

サークルのメンバーと旅行にいきました。

MESSAGE

　こんにちは！新入生や高校生の皆さんは「大学生は楽しい・自由」というイメージを抱いていると思います。確かに学生生活は楽しく、自由です。ただし、自由には責任が伴います。失敗しても誰かのせいにすることはできません。後悔しないためにはどうしたらいいか。私からは「学生生活のアドバイス」を紹介します。それは「手帳」です。一か月以内にやること、一週間以内にやることなど、どんどん書き出してください。可視化することで、いつでも目で確認することができます。また、流れを考えながら書くことで、レポートに取りかかる順番や、次の授業を把握できます。大学生には「速さ」と「正確さ」が求められます。いつまでに、どのくらいのクオリティを満たしているか。今の自分に何が足りないのか。そして、何をすればよくなるのかを考えることが一番大事です。
　身の引き締まることを言いましたが、やっぱり学生生活は楽しいので、何事も全力で楽しんでください！

CAMPUS LIFE

新入生のための学生生活！ 大学生活ってどんな感じなの？

写真部で活躍中！

理工学部　物質科学科　応用化学コース３年次

橋本（はしもと）　和周（かずちか）さん

PROFILE

- 出身高校／静岡県立韮山高等学校
- 課外活動団体／写真部
  ※課外活動団体ではないが、学生広報スタッフとして活動している。
- 通学方法／徒歩
- アルバイト／塾講師

1日のスケジュール

7：30	起床、登校
8：50 ～	授業
12：00 ～	昼休み
12：50 ～	授業
14：30 ～	自習（課題など）
17：00 ～	帰宅
18：15 ～ 22：00	アルバイト or 課外活動　他
22：30	帰宅、夕食
23：00	勉強等
24：30	就寝

近いので基本的に徒歩で通学しています。

空きコマは自習しています。

MESSAGE

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。これまでは辛く、長い受験生活だったと思います。それを乗り越えた新入生の皆さんには、これから楽しく充実した大学生活が待っています。

大学は自分でやりたい勉強や趣味を存分に味わうことができます。履修したい科目を選び、自分でカリキュラムを構成できます。また、部活動・サークル活動も学生が主体となるため、責任は伴いますが、自由に活動できます。私は写真部と学生広報スタッフに所属しており、週末などは写真部のメンバーと秋田県内外を旅行し、楽しく活動しています。

中身の濃い大学生活を過ごすためには、今のうちに「何を学びたいのか」、「新しく始めたいこと」を考えておくといいかもしれません。

皆さんの大学生活も充実するように応援しています！！

目指すは医師！

医学部　医学科２年次

田高（ただか）　匡孝（まさたか）さん

PROFILE

- 出身高校／開智学園高等部
- 課外活動団体／ケイビング部、医学部陸上競技部
- 通学方法／徒歩
- アルバイト／日雇いのアルバイトを時々

1日のスケジュール

7：00	起床、登校
8：50 ～ 12：00	授業
12：00 ～ 12：40	昼休み
12：50 ～ 17：30	授業
17：30 ～ 19：00	課外活動
19：30 ～	夕食
21：00	勉強等
25：00	就寝

※昼食以外は自炊することが多いです。勉強時間はテスト直前の1か月間は1日10時間ほどですが、そうでないときは課題と復習程度です。

昼は学食で食べます。

先輩と旅行の様子

MESSAGE

秋田大学では前期で基礎教養科目の大半を終え、後期からは医学部らしい専門科目の講義が始まります。発生学や人体生理学といった講義では、「いよいよ本格的な医学知識を学べる」と実感できます。大変ではありますがとてもやりがいのある学びです。また、こうした座学のほか、病院での実習や医療面談（いわゆる問診）などの実技の講座もあり、医師を目指すというモチベーションが湧いてきます。

「医学部」と聞くと勉強ばかりのイメージを持つ方が多いかもしれませんが、実は部活動も活発に行われています。日々の練習だけでなく、合宿やバーベキューなどの様々なイベントが行われ、夏には「東日本医科学生総合体育大会」という大きな大会があり、とても盛り上がります。特に、医学部陸上競技部は大会で入賞を目標に参加する人だけでなく、日々の運動の延長線上で参加する人もいるため、自分のペースで参加でき、とても楽しく活動しています。

大学、特に医学部では高校までと比べて色々なことが変わります。初めは何かと戸惑うかもしれませんが、慣れればとても楽しい生活が待っています。皆さんのご入学を心からお待ちしています！

秋田魁新報社との

包括連携協定記念コラム

このコラムは「秋田魁新報社との包括連携協定事業」の一環として始まり、秋田大学広報誌〈アプリーレ〉で、秋田魁新報社で活躍する記者さんらによるコラムを紹介。現在の仕事を通じて考える「地域」などについて、執筆していただいています。

秋田魁新報社統合編集本部
デジタルセンターデジタル部　部長代理
黒崎　秀彦〈秋田市出身〉

「竿燈に魅せられて」

夜空に揺らめく光の稲穂、力強く鳴り響く笛と太鼓、差し手を鼓舞する「どっこいしょー」の掛け声…。

そんな場面を想像すると今から8月が待ち遠しい。そう思えるほど「秋田竿燈まつり」に魅せられている。1993年に入社後「さきがけ竿燈会」に入会し、差し手として活動するようになってからだ。

さきがけ竿燈会は1986(昭和61)年に発足。会員は社員ら約50人。「地元企業としてまつりを盛り上げたい」との一心で竿燈を上げ続けている。数年前からは社員の子どもたちも参加し、練習も本番も一層にぎやかになった。

「まずやってみれ」。入社して間もなく、自身が竿燈会入りしたきっかけは先輩からのその一言だった。秋田市出身とはいえ、もともと竿燈とは接点がなく、入会後は見よう見まねで「掛け声係」を務めた。飲み会が楽しみで参加していた面もある。

入会して2年後、今度は同じ先輩から「竿燈を上げられるようになれ」と背中をたたかれた。練習に打ち込むようになったのはそのときからだ。しかし現実は厳しい。なかなか上達せずに失敗ばかり。諦めずに練習し、初めて本番で演技したときのことは今でも忘れられない。周囲の手拍子がとにかくありがたかった。

その後、差し手の仲間も少しずつ増え、35歳で竿燈妙技大会に初出場。遅いデビューだったが、「素人でもやればできる」と大きな自信になった。自慢できる技量はないが、継続して努力することの大切さを教えられた。

竿燈は仲間との協力も重要。どんなに演技がうまくても一人では何もできない。昨年の流行語大賞でもあるラグビー日本代表のスローガン「ONE TEAM(ワンチーム)」は竿燈にも当てはまる。仲間のためにもまだまだ頑張りたい。

こんな調子で竿燈に思いをめぐらすことが多いのだが、社内では新聞制作システムの運用管理を主に担当している。27年前の入社時、既に新聞はコンピューターで制作していたが、専門的な機器で使いにくかった。しかし、2000年ごろから飛躍的に機能が向上。現在では新聞制作システムを含め、あらゆるシステムでサーバーの仮想化が一般的となり、クラウド化も進んでいる。

これらの最新技術は自身が秋田大学に在学していた当時は想像もできなかった。社会に出て学ぶことは本当に多い。学生時代はそのための基礎的な能力を身に付ける期間なのだろう。

9年前、40歳で第3種電気主任技術者の免状を取得した。その年齢で大学受験並みの猛勉強をするのは身にこたえたが、なんとか合格できた。これも秋田大学在学時に基礎を学んでいたからこそだと思う。

秋田の未来には皆さんのような若い力が必要だ。失敗を恐れず、何にでも果敢にチャレンジしてもらいたい。また、竿燈に限らず郷土のお祭りにぜひ参加し、地域を支えてもらいたい。私みたいに人生が変わるかもしれませんよ。

PROFILE
1993年3月　鉱山学部電気工学科卒
1993年4月　秋田魁新報社入社、印刷局発送部配属
1996年3月　電算制作局電算制作部
2011年3月　デジタル戦略室部次長
2018年4月　統合編集本部デジタルセンター　デジタル部部長代理

先輩なう。

秋田大学卒業生の今(＝なう)をご紹介します。

PROFILE	
氏名	五十嵐　瞳
勤務先	特定医療法人　仁政会　杉山病院
職種	作業療法士
卒業(修了)学部	医学部保健学科作業療法学専攻 大学院医学系研究科保健学専攻 リハビリテーション科学領域博士前期課程
卒業(修了)年	2013年卒業／2015年修了
出身高校	秋田県立横手高等学校

Q 今の仕事内容、やりがいを教えてください。

「リハビリ＝歩行訓練」というイメージですが、私は精神科病院に勤務しています。統合失調症や認知症、うつ病の方などを対象に、入院中の作業活動や、退院を目指した外出や調理訓練、コミュニケーションスキルのトレーニングなど、社会的なリハビリテーションを提供しています。業務以外は、実習指導や秋田県作業療法士会の研修企画の仕事、まれに学会発表などに取り組んでいます。この分野は発展途上でまだまだ勉強の日々ですが、患者さんに些細な変化が見られた時、この仕事はやめられないなと思います。

Q 秋田大学での学びが、現在どのように生かされていますか。

講義や実習から得られた学びはもちろんですが、小規模の専攻である分、同窓生の結束、先生方とのつながりは強いです。また、部活やサークル活動での医学科や看護科との交流は、現職の多職種連携にも生きています。精神科作業療法士は少人数体制ですが、その分だけ一層つながりは心強く、日頃から頼りにしています。

Q 卒業された学部を選んだ理由を教えてください。

「専門職で安定していて、人の役に立てる仕事、ライフワークバランスのとれた仕事」と介護職に就く母に紹介され、はじめは強い志ではなく「条件が揃っている」という感覚でした。大学で専門科目を学んでいる時も、働き始めてからでさえもこの選択に自信を持てない日もありましたが、今作業療法士7年目の私は、ようやくこの選択に胸を張れる充実感があります。

Q 大学入学試験の対策方法（勉強方法や時間等）を教えてください。

面接や小論文対策として、食卓の話題に時事問題を取り入れていました。扱いづらいものこそ日常に組み込んだこと、インプットだけでなくアウトプットする方法をとったことは父の名案でした。受験を意識する前の早い段階から取り組むことで、脳の検索機能やデフォルトモードネットワーク（※1）を有効活用できる効率の良い方法なのだと思います。また、私が現在心酔しているメタ認知（※2）は“自分を俯瞰してみる”という視点を持つことで、自分の特徴を捉えた学習方法が身に付けられます。悩みを抱えながらも受験勉強に打ち込む時期だからこそ、感情コントロールにも役立ちます。

（※1：脳が意識していないときに働く基礎活動）
（※2：自分自身を客観的に認知する能力）

Q 秋田大学を希望している高校生（受験生）にメッセージをお願いします。

私は現在やりがいを感じられる仕事に就くことができましたが、高校時代はそんな未来を想像できず、机に向かう意味に疑問を感じる時期もありました。生活のため、趣味を充実させるため、自己実現のためなど仕事をする目的は人それぞれですが、長い人生の中で多くの時間を費やすならば好きな分野である方が得だと思います。そして、今やりたいことが見つけられずモチベーションが上がらなくても、いつか見つけた時に“最短ルートで叶えるための準備”として、高校での学習に損はないです。

私は作業療法士になって「なりたい自分」に近づくことができました。高校生は悩みを抱えながら将来を模索する日々ではありますが、今しかない時期を楽しみながら進んでいってほしいです！

当法人の就労継続支援事業所で同僚とランチした時の写真です。
やわらぎのからあげは絶品です！

CAMPUS CALENDAR

キャンパスカレンダー

秋田大学では、1年を通じて様々なイベントが行われます。また、秋田県内にも四季折々の行事や豊かな自然を感じる観光名所がもりだくさんです。秋大キャンパスで過ごすかけがえのない日々が充実したものとなるよう、積極的に参加してみてください。

4月 入学式

新入生が一堂に会し、入学式を行います。式の終了後、会場の外では学生サークル・部活動の先輩たちが新入生の勧誘を行い、賑わいます。

5月 鉱業博物館無料開放

大学院国際資源学研究科附属鉱業博物館では、「地質の日（5月10日）」にちなみ毎年施設の無料開放を実施し、当日は中学生や多くの地学ファンで賑わいます。無料開放はこのほか、大学の催しや「国際博物館の日（5月18日）」などにも合わせて行っておりますので、ぜひお越しください。

6月 秋田蕗が見頃

手形キャンパス内で秋田蕗が見頃を迎えます。秋田蕗は、茎の長さ1.5m余り、太さ5cm、葉幅1.3mにもなり、6月に秋田市仁井田で行われる蕗刈りは市の風物詩となっています。秋田大学の学章は、秋田蕗の葉がモデルです。

7月 オープンキャンパス

手形・本道の両キャンパスを舞台に、各学部の説明会や模擬授業、秋大生による研究室紹介など、秋田大学での学びの魅力を伝えるオープンキャンパスを毎年開催しています。キャンパスツアーや学食体験など、来場者の皆さんへ秋田大学のキャンパスライフを実感していただいています。

8月 子ども見学デー

毎年夏休みに、小学生とその保護者の方を対象にした「秋田大学子ども見学デー」を実施しています。普段なかなか見る機会のない研究室や実験室、図書館などを見学できるほか、楽しくワクワクする体験を学生・教職員たちが準備して皆さんをお待ちしています。

秋田県ご当地グルメ

稲庭うどん

湯沢市で作られている手延べ製法の干しうどん。日本三大うどんの一つで、ひやむぎより若干太く、薄く黄色がかった色をしています。

ババヘラ

春から秋に、県内の幹線道路沿いやイベント会場の近くなどに現れます。売り子である平均70歳を超える「ババ」（秋田弁でおばさんの意味）がヘラでアイスを盛ってくれることから、この名前で呼ばれています。

きりたんぽ鍋

炊いたご飯をすり潰して木の棒に棒状に塗りつけて焼いたものを地鶏、ねぎ、きのこ、ごぼう、せりなどを入れた鶏がらのスープで煮込んだ鍋料理で、秋田県北部の郷土料理です。

秋田県の春夏秋冬。
四季折々の魅力を満喫しよう。

角館・桧内川の桜

「角館の桜まつり」が開かれる4月20日から5月5日は、桜の名所が一年で最も華やぎます。

大潟村　桜・菜の花ロード

大潟村を走る県道沿いに、ソメイヨシノ、ヤマザクラなど約3600本の桜並木と菜の花畑が約11キロにわたり続きます。ピンクと黄色の鮮やかな花が咲き誇り、訪れた人を楽しませています。

全国花火競技会「大曲の花火」

毎年8月の最終土曜日に大仙市南部を流れる雄物川河川敷を会場に、全国から選ばれた花火師が技術を競う全国花火競技大会が行われます。

秋田竿燈まつり

国の重要無形民俗文化財に指定されている東北三大祭りの一つで、例年270本以上の竿燈が出竿し、期間中の来場者数も約130万人を数える、秋田の夏を代表する行事として親しまれています。秋田大学教職員らで構成する秋田大学竿燈会も昭和46年の初出場以来、連続出場しています。

法体の滝

由利本荘市鳥海町にある流長100m、落差57.4m、滝幅3m～30mの末広がりの名瀑で、日本の滝100選にも選ばれています。鳥海山の豊富な雪解け水、湧水を集め3段にわたって流れ落ちる豪快な滝です。

秋田内陸縦貫鉄道

秋田内陸縦貫鉄道が運営する角館駅(仙北市)から鷹巣(北秋田市)までの約94キロメートルを結ぶローカル線。沿線には国指定史跡・伊勢堂岱遺跡や森吉山などの観光スポットが多数存在し、車窓からの四季折々の風景も美しく、全国の鉄道ファンから愛されています。

なまはげ柴灯まつり

みちのく五大雪まつりのひとつ「なまはげ柴灯(せど)まつり」は、秋田県男鹿市北浦の真山(しんざん)神社で行なわれる男鹿の冬を代表する冬祭りとして昭和39年に始まり、毎年2月の第二金・土・日の3日間開催されます。この祭りは神事「柴灯祭(さいとうさい)」と民俗行事「なまはげ」を組み合わせた冬の観光行事です。真山神社境内に焚き上げられた柴灯火のもとで繰り広げられる勇壮で迫力あるナマハゲの乱舞は見る人を魅了します。

横手のかまくら

およそ450年もの伝統をもつ冬の風物詩。中に入って正面に祀った水神様にお賽銭を上げ、家内安全・商売繁盛・五穀豊穣などを祈願する小正月行事です。

10月　秋田大学祭・秋田大学ホームカミングデー

「秋田大学祭」は、各学部の交流、また学生と教職員や一般市民との交流を深めることを目的として毎年実施し、学内外を問わず親しまれています。また、秋田大学卒業生を対象とした「秋田大学ホームカミングデー」も同時開催し、卒業生の憩いの場となっています。

11月　全学駅伝

学生同士や、学生と教職員、一般市民団体との交流を深め、スポーツ精神を養うことを目的に、例年男女合わせて30チームほどが健脚を競っています。応援も含めて秋田大学全体が熱狂する伝統行事です。

12月　イルミネーション

街づくりの一環として夜の学園街を生き生きとした魅力的な場に変え、学生だけではなく地域住民の方々にも秋田大学に親しんでもらえるようにとの願いを込め、イルミネーションの点灯を実施しています。冬の夜を明るく照らすイルミネーションで手形キャンパスは幻想的な雰囲気に包まれます。また、平成29年度からイルミネーションとコラボレーションする形で、学生が制作したプロジェクションマッピングの投影を行っています。

3月　卒業式

学部と大学院の卒業生が社会への第一歩を踏み出します。式の終了後、会場の外では、卒業生がサークルの後輩や保護者などから祝福を受け、記念撮影や胴上げを行います。

秋田大学みらい創造基金

ご協力をお願い申し上げます。

「秋田大学みらい創造基金」は、全学的な事業を支援する「一般基金」と、使途を特定した「特定基金」で構成され、現在、企業・団体や個人の皆様など多くの方々にご支援をいただいております。この基金は、教育・研究による社会への貢献という本学の使命を果たすための大きな支えとなっており、今後一層の拡充を図りながら、有効に活用させていただきます。

みらい創造基金による事業紹介

学生海外派遣支援 一般基金

本学と国際交流協定を締結している海外の大学への留学を希望する学生に対し、留学に係る渡航費の一部(アジア圏上限5万円/その他の地域上限10万円)を補助しています。
本事業による支援を受け留学した学生からのメッセージを紹介します。

教育文化学部地域文化学科3年　齋藤 健
●留学先:ニューファンドランドメモリアル大学(カナダ)
●留学期間:2018.12.31～2019.12.25

家計的にも苦しい経済状況の中で渡航費補助をいただき、たいへん感謝しています。この補助金のおかげで自分の海外生活での選択肢の幅が広がりました。この感謝の気持ちを忘れずに今後、自分の学んだことを活かし社会に貢献していきたいと思います。

現地の知り合いとルームメイトとのハイキング(右が齋藤さん)

本道キャンパス内の環境整備 医学部寄附金

保健学科事務室内に設置していた証明書自動発行機を学生の利便性向上のため廊下へ移設するにあたり、機器のセキュリティ対策として、発行機の外側を覆う工事を行いました。これまでは、証明書自動発行機を事務室が開いている17時まで稼働していましたが、本移設工事により夜間まで稼働させることが可能となり、実習等で日中の利用が難しい学生にとっても利用しやすい環境の整備を図りました。

また、医学科の学生が実習等のために使用しているロッカー室のロッカーが老朽化していたため更新しました。ロッカー室は本道キャンパス改修工事に伴い、別の建物へ一時的に移転することになりましたが、移転先の部屋はこれまでより面積が狭くなったため、移転後も学生数分のロッカーを設置できるように「4人用ロッカー」から「6人用ロッカー」へ変更しました。

証明書自動発行機

更新したロッカー

※その他の事業については、秋田大学ホームページで紹介しています。

ご寄附のお願い

●個人の方：一口 1,000円　●法人の方：一口 10,000円

この基金の趣旨をご理解いただき、何卒複数口のご協力をお願いいたします。
また、継続的なご寄附もお待ちしております。寄附者様のご都合に合わせた寄附方法・金額の設定が可能ですので、詳細は基金事務室へお問い合わせください。

ご寄附の方法

●振込によるご寄附　●クレジットカードによるご寄附
●古本募金によるご寄附　●遺贈によるご寄附

寄附のお申し込み方法は上記の通りです。詳細につきましては、秋田大学公式ホームページをご覧いただくか、基金事務室までお問い合わせください。

古本募金のお願い

読み終わった書籍(CD・DVD等を含む)を本学の提携業者が買い取り、その売却代金をご寄附いただく「古本募金」をぜひご活用ください。５冊以上から送料無料でご指定の場所に集荷に伺います。ご希望の方は、下記にお電話いただくか、秋田大学ホームページからお申し込みください。なお、一度に集荷できる古本は３箱までとさせていただきます。

株式会社バリューブックス　0120-826-292
〈電話受付時間〉
10:00～12:30・13:30～21:00、日曜は17:00まで
※「秋田大学みらい創造基金『古本募金』の申込」とお伝えください。

寄附者ご芳名

この基金の趣旨にご賛同、ご協力いただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。今後とも秋田大学の教育・研究活動等に対し、格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

企業・団体等			
秋田県厚生農業協同組合連合会　様 秋田大学生活協同組合　様 秋田大学有志一同　様	株式会社五洋電子　様 株式会社三栄機械　様 株式会社シグマソリューションズ　様	ソレキア株式会社　様 日本精機株式会社　様 北秋容器株式会社　様	YURIホールディングス株式会社　様

個　人						
浅田　昌弘　様 池上　俊哉　様 石郷岡　政広　様 石田　和子　様	石塚　広行　様 市川　逸郎　様 伊藤　良正　様 稲庭　千弥子　様	入船　盛弘　様 後松　珠城　様 大久保　安彦　様 加藤　末廣　様	叶野　みずえ　様 鬼平　聡　様 桑島　精一　様 後藤　芳和　様	三戸　学　様 柴田　健　様 田澤　千寿子　様 鶴飼　孝　様	戸島　哲子　様 仲澤　公司　様 橋本　正徳　様 藤川　長敏　様	松本　敏江　様

他　匿名希望　14名様・法人様(延べ数)(令和元年12月～令和2年1月末入金分　五十音順)

お申し込み お問い合わせ先

秋田大学みらい創造基金事務室　〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号　☎018-889-3266
秋田大学みらい創造基金は、秋田大学公式ホームページからもお申し込みいただけます。
https://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/index.html

株式会社 松田
株式会社 湯沢生コン
株式会社 丸栄建設
株式会社 出羽運輸
株式会社 エイコウ物産
地域の発展とともに
松田グループ
【本社】湯沢市字鶴舘 39-4 TEL 0183-73-0188
URL http://www.matsuda-group.jp/

『郷土を愛し、地域に尽くす』
大森グループ
総合建設業 大森建設株式会社
本社 能代市河戸川字北西山48-1 TEL 0185-54-3358 FAX 0185-55-1470
本店 山本郡八峰町八森字和田表121 TEL 0185-78-2211 FAX 0185-78-2847
秋田支社 秋田県秋田市中通二丁目1-36番地 TEL 018-884-1275 FAX 018-884-1276
●三商物産株式会社 ●株式会社 福八 ●Beech株式会社
●株式会社八森電子デバイス ●風の松原自然エネルギー株式会社 ●能代FRC有限責任事業組合
●能代中央生コン株式会社 ●株式会社ダイニチ ●サンホレスト化成工業株式会社岩手工場
●株式会社伊藤羽州建設 ●株式会社ノック ●白神ウインド合同会社
●テクノクイーン株式会社 ●株式会社 親孝

秋田大学生協は秋大生を応援します
新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！
大学生の学生生活を日常的にサポートするのが大学生協です！
文具 教科書 電子機器 食事 住まい 旅行チケット 共済
何かお困りごとがありましたら一度ご相談ください
各店舗の営業時間もここからチェック！
秋田大学生協サポートセンター ☎0120−327−141

秋田県厚生農業協同組合連合会
かづの厚生病院（鹿角市）
能代厚生医療センター（能代市）
秋田厚生医療センター（秋田市）
大曲厚生医療センター（大仙市）
雄勝中央病院（湯沢市）
北秋田市民病院（北秋田市）
湖東厚生病院（八郎潟町）
由利組合総合病院（由利本荘市）
平鹿総合病院（横手市）
JA秋田厚生連 検索

不要な木材片は、優れたエネルギーに変わる。
カーボンニュートラルで、環境に取り組んでいます。
自社工場でペレットを加工、お客様へお届けいたします。
木質ペレットストーブのことなら
北秋容器株式会社
〒017-0872 秋田県大館市片山町三丁目1-47
TEL/0186-49-1675 FAX/0186-49-1676

特定医療法人 敬徳会
藤原記念病院
理事長 藤原慶正
院長 白山公幸
〒010-0201 潟上市天王字上江川47 TEL018-878-3131
敬徳会 出戸診療所 TEL018-878-7710
天王訪問看護ステーション TEL018-878-7810
まごころプランステーション TEL018-878-6850
〒010-0201 潟上市天王字北野307-55

丁酉会は、秋田大学病院の患者、職員及び学生への便宜供与に関する事業を行うとともに、医学研究の奨励助成を行い、患者等の利便と医学振興に寄与します。
病院での生活を、もっと便利に、快適に 一般財団法人 丁酉会
保険調剤 丁酉会薬局（ていゆうかい）
秋田大学病院前

TECHNO AGE INC. 株式会社テクノエイジ
ICT、企画力を駆使して
最善なシステムを提供いたします

資源に変える智恵
エネルギーに変える力
ユナイテッド計画株式会社
〒018-1414 潟上市昭和豊川槻木字槻13-1
TEL.018-877-3027／FAX.018-877-3986

私達は、常にお客様の信頼と満足を目指し、
より質の高い工事とサービスを提供します。
地域を支える企業を目指して豊かな自然と、豊かな未来を。
ISO9001:2015 認証取得
Noden 能代電設工業株式会社
http://noden.jp/
〒 016-0801 秋田県能代市浜通町1-45 TEL 0185-54-4249

Aprire 秋田大学広報誌 アプリーレ
No. 67
2020.04 APR
企画・発行 国立大学法人 秋田大学 広報課
秋田市手形学園町1番1号 〒010-8502 TEL：018-889-3019 FAX：018-889-3242 E-mail：kouhou@jimu.akita-u.ac.jp

イ ベ ン ト 情 報

新型コロナウイルスの感染拡大により、開催が延期・中止・規模縮小など、変更が生じる場合がございます。 詳しい情報は本学ホームページで公開しますので、ご確認ください。

秋田大学教育文化学部天文台イベント

市民が講演する天文サイエンスカフェと、45cm反射望遠鏡と10cm屈折望遠鏡を使った夜間天体観察会を実施します。

●令和2年4月4日(土)18：00～20：00
令和2年5月2日(土)18：00～20：00
令和2年6月6日(土)19：00～21：00
令和2年7月4日(土)19：00～21：00
●秋田大学教育文化学部3号館3-301　地学実験室ほか
●どなたでも(夜間観察会は小学校以上、小・中学生は保護者同伴)
●参加費／無料
☎018-889-2655(教育文化学部地学研究室)
●mouri@gipc.akita-u.ac.jp

令和2年度第1回天文講演会

身近な天文現象や、最新の天文研究等について、分かりやすくお話しします。 講師：上田晴彦教授

●令和2年5月2日(土)17：00～17：50
●秋田大学教育文化学部3号館3-301　地学実験室
●どなたでも
●参加費／無料
☎018-889-2655(教育文化学部地学研究室)
●mouri@gipc.akita-u.ac.jp

科学技術週間特別イベント（令和2年度第1回天文講演会）

科学技術週間に合わせて「一家に1枚ポスターの見方」の講演会と天体望遠鏡を使った夜間観察会を行います。

●令和2年4月18日(土)18：00～20：00
●秋田大学教育文化学部3号館3-301　地学実験室
●どなたでも
●参加費／無料
☎018-889-2655(教育文化学部地学研究室)
●mouri@gipc.akita-u.ac.jp

秋田大学医学部附属病院 看護の日～看護のこころをみんなのこころに～

看護への関心と理解を深めてもらうため、「看護の日～看護のこころをみんなのこころに～」を実施します。

●看護週間：令和2年5月8日(金)～5月13日(水)
●看護イベント：令和2年5月12日(火)10：00～12：00
●秋田大学医学部附属病院　外来棟1階　ホスピタルロード
●患者さん及びその家族、市民の方どなたでも
●参加費／無料
☎018-884-6039(医学系研究科・医学部　医事課医療サービス室)
●m-sabisu@hos.akita-u.ac.jp

学 生 サ ポ ー ト

保健管理センター
TEL：018-889-2955

入学・進級おめでとうございます。皆さんが有意義な学生生活をスタートされますことを心から願っております。

新しい年度が始まり、新生活へ胸を躍らせている方も多いかと思います。新しい環境は思っている以上に疲れやすいものです。疲れを残さないためには、「十分な睡眠」と「バランスの良い食事」、「適度に運動をする」ことがとても大事です。

保健管理センターは、学生の皆さんが健康で、勉学や課外活動に励むことができるようにサポートしています。高校までの保健室と違い、医師と看護師が常駐しております。ケガや急病時の応急処置、身体測定、禁煙外来など健康に関する相談や診察、健康チェックをしたい時に利用ができます。その他、悩み事が生じた時にも相談に応じており、カウンセラーにつなぐことも可能です。

いろいろな方が利用しますが、皆さんが気持ちよく利用できる場所を用意してスタッフ一同お待ちしております。

4月・5月は学生定期健康診断を実施します。

健康診断は病気や異常の早期発見に役立ち、自分の身体に関心を持ち、健康について意識する良い機会です。日程を確認し、必ず受けましょう。

「おざってたんせ」は手形キャンパスの学生支援棟1階にあります。「学生サポートルーム」は同棟2階で、相談室のほか自習・休憩が出来るスペースもあります。また、本道キャンパスでも毎週木曜日に相談窓口を開設しています。

よろず相談室（おざってたんせ※）
TEL：018-889-2265
(平日9：00～17：00)

学生相談ダイヤル
TEL：0120-89-2265
(24時間対応)

秋田大学では、学生の皆さん一人ひとりが充実した学生生活を送れるよう様々なサポートをしておりますが、そのひとつとして、学生生活において困ったときの相談窓口「よろず相談室(おざってたんせ)」を設けております。勉学のこと、人間関係のこと、アルバイトのことなど悩んでいることがありましたら、遠慮なくご相談ください。

また、24時間対応の電話相談窓口として「学生相談ダイヤル」も開設しております。学生生活における悩み、緊急を要する案件(事故、事件等)やトラブルに巻き込まれた、あるいは巻き込まれそうでとても不安だという方など、24時間対応しておりますのでいつでも相談してください。

(※)「おざってたんせ」・・・秋田弁で「どうぞおいでください」という意味です。

学生サポートルーム
TEL：018-889-3143　FAX：018-889-3145
MAIL：s-room@jimu.akita-u.ac.jp

障害のため修学上の配慮が必要な学生や、障害だけでなく様々な理由で困難を感じている学生が、より円滑に学生生活を送れるよう専任の教職員がサポートする相談窓口です。

身体障害や精神障害(発達障害を含む)など障害の状況やニーズに応じた配慮を検討したり、障害に限らず、学業がうまくいかない・生活環境の変化に馴染めないなどの不安や困り事の相談に応じるなど、在学期間において継続的にサポートすることが可能です。

学生のほか、保護者の方も入学前からいつでもご相談いただけますので、お気軽にご連絡ください。